

令和5年度 基本方針

芦屋市自治会連合会は、令和5年度が設立50周年を迎える記念の年に当たります。この50年間、社会の環境が大きく変化し、近年にいたっては、自治会の存在そのものについての必要性が問われ、加入者が伸び悩むなど、自治会活動に携われている方の苦労は年を追うごとに大きくなっております。しかしながら、どれだけ環境が変わろうとも、同じ地域に住む者同士が協力することで、住みよいまちが形成されることに繋がっていくという本質には変わりはないと考えております。

芦屋市自治会連合会は、次の50年に向けて、自治会・町内会が地域コミュニティの核であるという認識のもと、一人でも多くの方に自治会にご参加・ご協力いただくことに努め、住みよいまちづくりを目指してまいります。

その第一歩として令和4年度より取り組んでまいりました、市内13地域のブロック活動の促進による、近隣自治会・町内会の交流機会の創出を引き続き進めます。

さらに、芦屋市自治会連合会50周年事業として「加入促進」「参加のきっかけづくり」「これまでの活動への感謝」という3つの視点に基づく事業を展開してまいります。

一つ目の視点である「加入促進」については、各自治会において加入者数を増やす努力をされていることへの支援として、自治会への勧誘活動等に活用していただく自治会に関するパンフレットを新たに作成し、あわせて市内への転入者に配布します。

二つ目の視点である「参加のきっかけづくり」は、これまでの自治会育成事業補助金に、令和5年度は、対象事業に対し、1自治会について年2回を上限に、補助金を増額して交付する仕組みを設けます。これを機に各自治会で行われているまつりや、懇親会等のイベントが新たに企画されること期待しております。

三つ目の視点である「これまでの活動への感謝」は、自治会長歴が

15年を超えた方を対象に、50周年記念特別感謝状を贈呈いたします。

芦屋市自治会連合会は同じ地域に住む者同士、互いに協力しあえる関係構築に努め、災害等、非常時での「共助」の体制づくりを目指すとともに、地域活動の促進に努め、将来に渡り芦屋が住み良いまちとしてあり続けるための礎を築いてまいります。